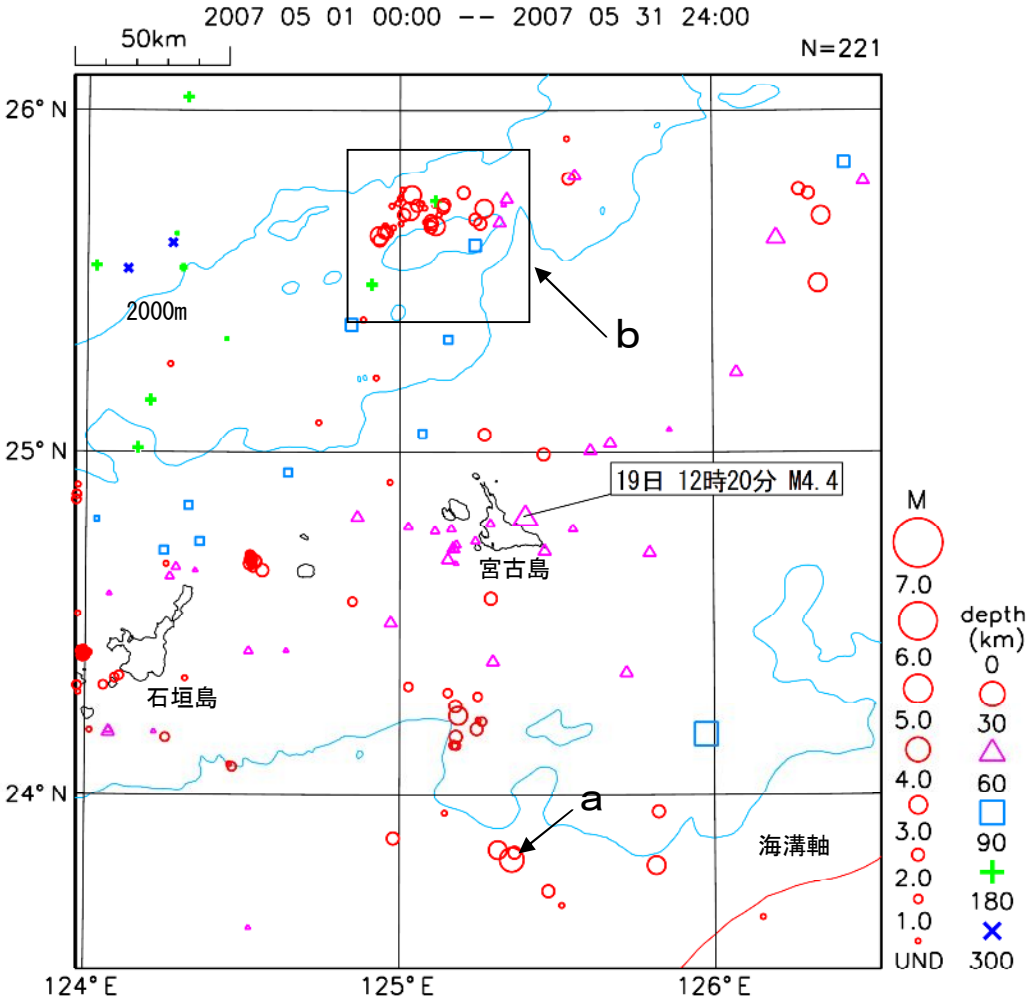
宮古島地方の地震活動図

2007 年（平成 19 年）5 月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号　M：マグニチュード　UND：マグニチュードが求まっていない
depth：震源の深さ　N：地震回数

コメントは震度 1 以上を観測した地震の日時分、マグニチュード

【概況】

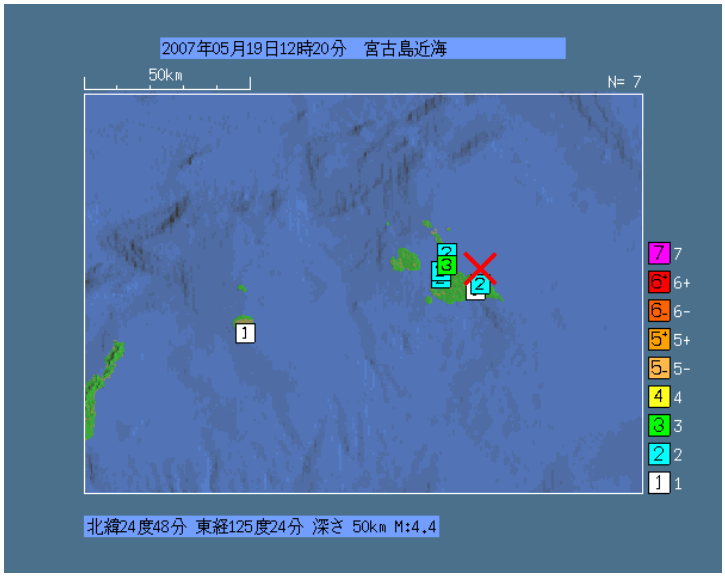
今期間に観測した地震は 221 回でした。震度 1 以上を観測した地震は 1 回（前月 11 回）で、最大規模の地震は 3 日 05 時 31 分に発生したM4.7 でした（図中 a ）。

19 日 12 時 20 分に宮古島近海でM4.4 の地震（深さ 50km）が発生し、宮古島、多良間島で震度 3 ～ 1 を観測しました（別紙 1 参照）。

4 月 20 日 10 時 45 分に発生した、宮古島北西沖の地震（M6.7、深さ 21ｋｍ）の領域（図中ｂ）では、5 月は 35 回の余震を観測しました（別紙 2 参照）。

宮古島地方で震度１以上を観測した地震（５月）

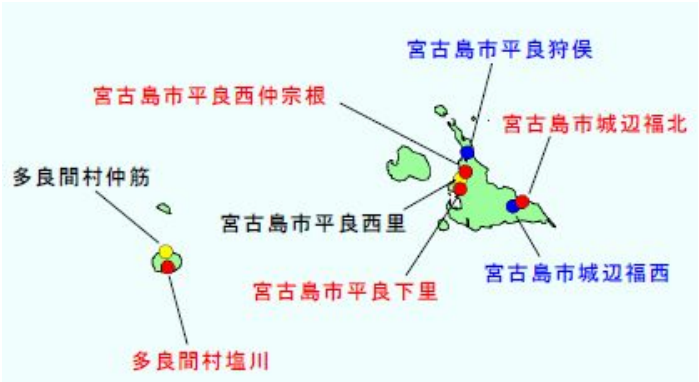
	震源時（年月/時:分:秒）　　緯度　　経度　　深さ　　M　　震央地名	
No.1	2007 年 5 月 19 日 12::20:0:5.2　24°48.3'N　125°24.0'E　50km　M:4.4　宮古島近海	
沖縄県	震度３	宮古島市平良西仲宗根
	震度２	宮古島市平良下里 、宮古島市城辺福北 、宮古島市平良狩俣＊ 、宮古島市平良西里＊
	震度１	多良間村塩川 、宮古島市城辺福西＊



（注）震源要素は暫定値で、後日の調査で変更されることがあります。

＊印は地方公共団体（沖縄県）または防災科学技術研究所の震度観測点です。

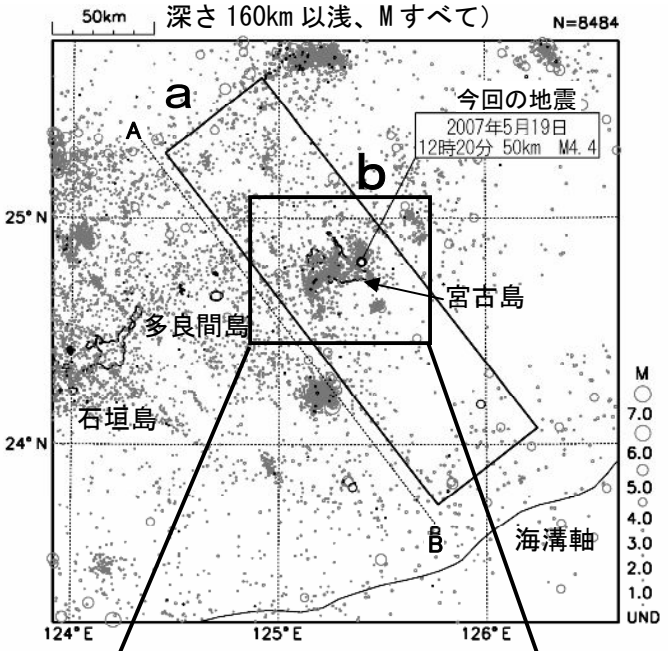
宮古島地方の震度観測点

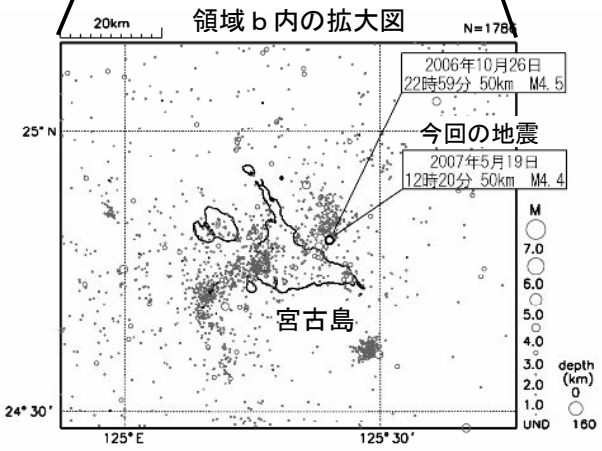


● 気象庁の震度観測点
　宮古島市平良西仲宗根
　宮古島市城辺福北
　宮古島市平良下里
　多良間村塩川
● 沖縄県の震度観測点
　宮古島市平良西里
　多良間村仲筋
● (独)防災科学技術研究所の震度観測点
　宮古島市平良狩俣
　宮古島市城辺福西

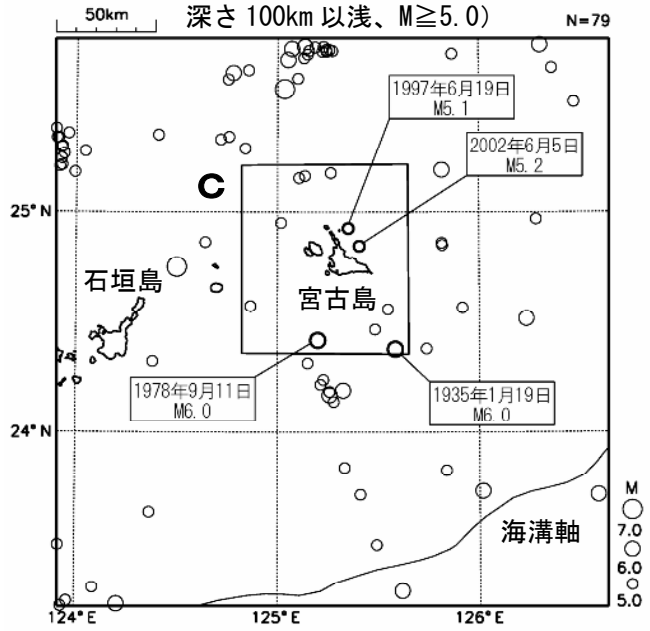
５月 19 日　宮古島近海の地震

震央分布図
（2000 年 1 月 1 日～2007 年 5 月 31 日、
深さ 160km 以浅、M すべて）





震央分布図
（1923 年 8 月 1 日～2007 年 5 月 31 日、
深さ 100km 以浅、M≧5.0）

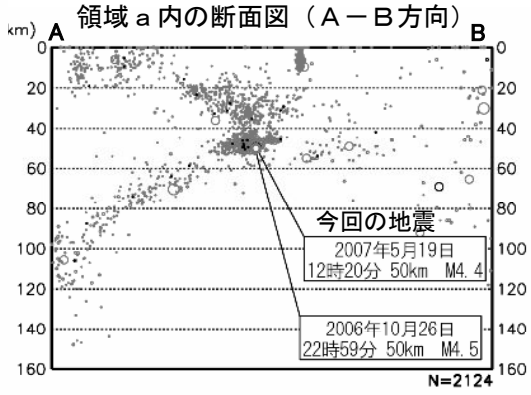


2007年5月19日12時20分に宮古島近海でM4.4（深さ50km）の地震が発生し、宮古島から多良間島にかけて震度３～１を観測した。

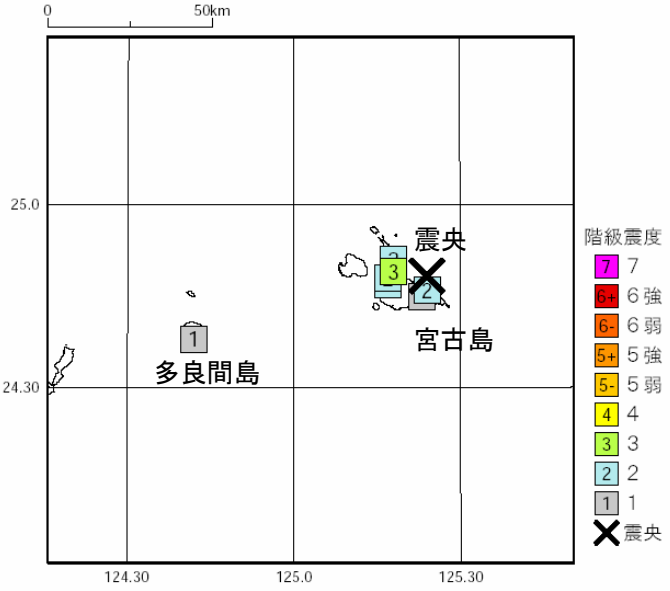
この震源付近では、2006年10月26日にM4.5（深さ50km）の地震が発生し、最大震度３を観測している（領域ａ、ｂ）。

1923年以降、宮古島付近では、M５～６クラスの地震が時折発生している（領域ｃ）。

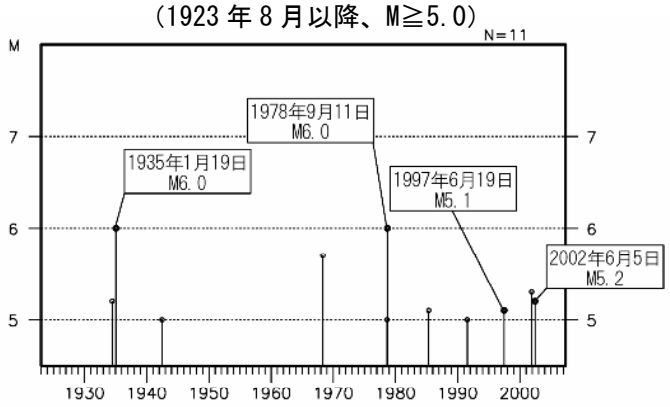
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ方向）



震度分布図
（2007 年 5 月 19 日 12 時 20 分　宮古島近海）

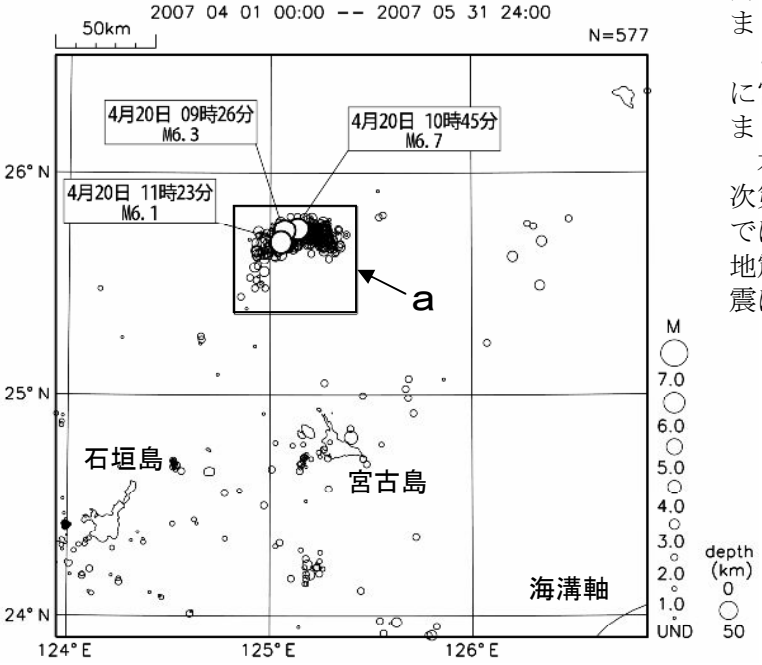


領域ｃ内の地震活動経過図
（1923 年 8 月以降、M≧5.0）

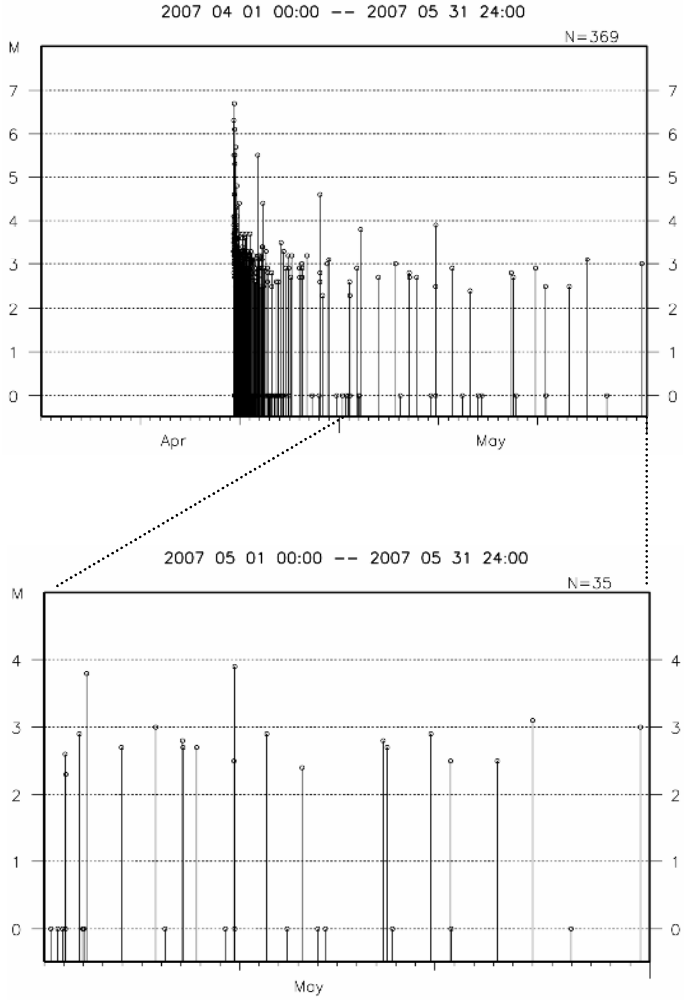


４月 20 日　宮古島北西沖の地震

震央分布図
（2007 年 4 月 1 日～2007 年 5 月 31 日、
深さ 50km 以浅、M すべて）



領域 a 内の地震活動経過図



2007年４月20日10時45分に宮古島北西沖でM6.7（深さ21km）の地震が発生し、西表島から沖縄本島にかけて震度３～１を観測しました（宮古島で最大震度３）。

この地震により、沖縄気象台は、10時51分に宮古島・八重山地方に津波注意報を発表しました(11時50分解除)。

本震発生直後は、地震活動は活発でしたが、次第に落ち着いています。この領域（図中ａ）では、５月31日までに369回（5月、35回）の地震を観測しました。5月は、震度１以上の地震はありませんでした。

☆☆☆☆　防災メモ　☆☆☆☆

津波に対する心得

宮古島地方は一般的には地震の少ない地域と思われがちですが、過去には大きな被害をもたらした地震・津波が発生しています。とくに有名なものが1771（明和8)年4月24日に発生した「明和の大津波」です。普段から、地震発生時（津波発生時）の行動について、確認しておきましょう。

【津波に対する心得】陸地にいる人の場合

①強い地震（震度4程度）を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
②地震を感じなくても、津波警報の発表を知ったとき は、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
③正しい情報をラジオ、テレビ、広報車などを通じて入手する。
④津波注意報でも、海水浴や磯釣りは危険なので行わない。
⑤津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報、注意報の解除まで気をゆるめない。

【津波に対する心得】船舶の場合

①強い地震（震度4程度）を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに港外（注1，2）退避する。
②地震を感じなくても、津波警報 の発表を知ったときには、直ちに港外（注1，2）退避する。
③正しい情報をラジオ、テレビ、無線などを通じて入手する。
④港外退避できない小型船は、高い所に引き上げて（注2）固縛するなど最善の措置をとる。
⑤津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報、注意報 の解除まで気をゆるめない。

（注1）港外：水深の深い、広い海域をいう。
（注2）港外退避、小型船の引き上げ等は、時間的余裕がある場合のみ行う。

宮古島地方気象台（緊急地震速報に関する出前講座を実施しています。）
９０６－００１３　宮古島市平良字下里１０２０－７
電話　０９８０－７２－３０５１　　ＦＡＸ　０９８０－７２－９２５２